

研究課題名	2017-044 婦人科 TC 療法に使用する制吐剤の現状調査
実施責任者	名古屋掖済会病院 薬剤部 副薬剤部長 中村敏史
研究の概要	<p>抗癌剤のカルボプラチンは中等度に吐き気を起こす薬剤として知られています。吐き気を抑えるため海外ではアプレピタントという吐き気止めが推奨されていますが、日本のガイドラインには記載がありません。</p> <p>抗がん剤の悪心・嘔吐を予防する薬剤の使用状況と効果について、電子カルテシステムより情報を収集して検討を行います。</p> <p>この内容には氏名・住所といった個人を特定できるような情報は含みません。</p>
実施の期間	2016年 4月 1日 より 2017年 11月 30日 まで
研究対象	上記の期間に、当院婦人科にてカルボプラチンとパクリタキセルという抗がん剤で治療を行いました患者様が対象となります。